

筑波大学新聞

第391号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会

TEL・FAX 029(853)6699

E-mail
shinbun@
un.tsukuba.ac.jp

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

27年度から留学生授業料値上げ 教育・生活環境の充実図る



留学生値上げの経緯について説明する永田川畑学長(昨年12月18日、本部棟で) = 川畑悠成撮影

筑波大は昨年12月、外国人留学生の授業料を2027年度から値上げすると発表した。これまで日本人学生と留学生で授業料は同額だった。値上げ額は正規生で年間7万3000円、非正規生で3万6000円。追加徴収分は留学生の教育・生活環境の充実に必要な経費に充てる。また、物価動向などに応じ、適宜見直す可能性があるとしている。

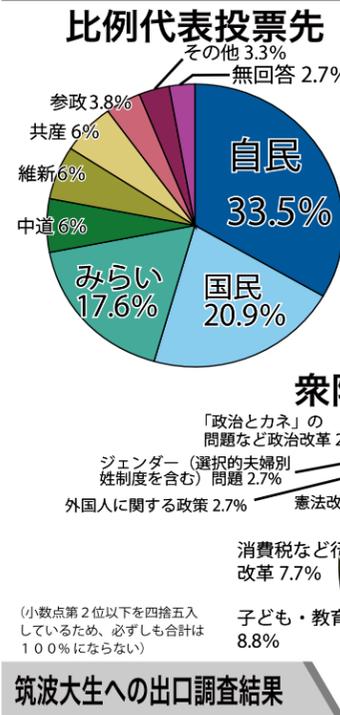
また、26年度までに入学した留学生の授業料も、現在の課程に在籍中は変更されない。国大の授業料は文部科学省令で標準額が定められており、大学ごとにその1.2倍を上限として金額を決定する。ただし、留学生の授業料については、24年3月の省令改正により、この上限が撤廃された。東北大は昨年11月に27年度からの値上げを発表している。筑波大の留学生数は2340人(25年5月時点)で、全学生数の13%。40年度までに学士課程における留学生の割合を2割まで拡大する目標を掲げている。定例記者会見によれば、留学生に選ばれる大学となるためには、教育・生活支援を含む留学生の学習環境の拡充が必要で、1年前から検討を重ねてきたという。

永田学長は記者会見で「留学生が増加する前提でやっている。それなりの利益を受けている人たちなので、理解していただきたい」と述べた。また、加藤光保(自由民主党)は「留学生と日本人学生が共に学べる体制を作りたい」と語った。一方、留学生以外の授業料値上げの有無について、大学側は本紙の取材に「検討の準備を進めている段階で、回答は差し控える」としている。

全代会 宿舎利用料値上げ1年延期要請 大学と意見交換会 3月開始

筑波大が来年度からの宿舎利用料値上げを決めたことを受け、全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議(全代会)は1月7日の本会議で値上げ1年延期を求め、千葉親文副学長(学生担当)に提出した。また、全代会によると、大学と協議した結果、学生担当副学長と全代会が宿舎問題に限らず学生生活全般について話し合う意見交換会を今年3月から定期的に開催する方向が固まったという。

全代会は値上げ発表翌日の昨年12月11日から25日にかけて筑波大生にオンラインアンケートを実施(65%)、「値上げ幅の縮小」(50%)、「学生との合意形成」(36%)、「値上げの延期」(34%)などが上位を占めた。さらに、値上げ理由に「宿舎に居住したくない」と回答した学生が33%を占め、「継続して居住する」は21%にとどまった。さらに、全代会によれば、宿舎の改修も伴った2008年4月の値上げでは、06年12月から学生と大学の意見交換会が継続して開かれていた。最終的な公表時期も07年8月と、今回より早かったという。



大学生と政治

茨城6区は新人の稲葉英樹候補(日本共産党)、現職の青山大入候補(無所属)で当選した。青山候補は所属、新人の堀越麻紀候補(参政党)、現職の国光候補、新人の中村吉男候補(無所属)の計5人が立候補した。青山候補は前回、立憲民主党から出馬したが、今回は無所属で立候補した。選挙区の得票数は国光候補が10万7388票で当選した。青山候補は10万4844票、544票差の接戦だった。出口調査で、青山候補に投票したと回答した学生は75人(41.2%)、稲葉候補に投票した学生は60人(33.0%)と続いた。青山候補は「景気・物価高対策など経済政策」(39%)、「外交・安全保障」(14.8%)、「社会政策」(9.9%)、「子ども・教育政策」(8.8%)、「消費税など行財政改革」(7.7%)、「憲法改正」(5.5%)、「外国人に関する政策」(2.7%)、「政治とカネの問題など政治改革」(2.2%)、「ジェンダー(選択的夫婦別姓制度を含む)問題」(2.7%)を重視した。無回答は2.2%、その他は4.4%だった。

選出調査結果

本紙は2月8日投票の第51回衆議院議員総選挙で、出口調査を市内7投票所で行った。筑波大生182人から有効回答を得た。つくば市が含まれる茨城6区は国光文乃候補(自由民主党)に投票した学生が80人(44%)で最も多かった。比例代表北関東ブロックでは自民に投票した学生が61人(33.5%)で最多となった。(本紙取材班)

注目記事

- 附属病院にファシリテイドッグ「明和電機」の進化たどる
- 箱根駅伝川崎が1区で区間新相当
- 蹴球部9年ぶりインカレ制覇
- 日マ学生が地球規模課題を議論

特集

- 思い出胸に次の舞台へ 6・7
- 羽ばたくアスリート

ミニ特集

- 退職教員4人に聞く 3
- 教育者・研究者人生の軌跡

筑波大生への出口調査結果

初回のオンライン出願 大学入学共通テストが1月17、18日に行われた。新しい学習指導要領に基づく新課程の2年目の試験で、今年も全国で前年より1066人増の49万6237人が出願。初回は地理歴史・公民、国語、外国語、2日目は理科、数学、情報の試験が実施された。筑波大も会場となり、受験者が最も多かった外国語で、5675人(登録者数6056人)が受験した。今回からオンライン出願に変更されたことに伴い、受験生は受験票を自身で印刷して持参する必要がある。また、受験票を忘れた

共通テスト実施

日は地理歴史・公民、国語、外国語、2日目は理科、数学、情報の試験が実施された。筑波大も会場となり、受験者が最も多かった外国語で、5675人(登録者数6056人)が受験した。今回からオンライン出願に変更されたことに伴い、受験生は受験票を自身で印刷して持参する必要がある。また、受験票を忘れた

選挙区投票先

国光氏 44%
青山氏 41.2%
稲葉氏 6%
堀越氏 4.4%
中村氏 2.2%
白票 0.5%
無回答 1.6%

比例代表投票先

自民 33.5%
国民 20.9%
みらい 17.6%
参政党 3.8%
共産 6%
維新 6%
中道 6%

衆院選で重視した政策

景気・物価高対策など経済政策 39%
外交・安全保障 14.8%
社会政策 9.9%
子ども・教育政策 8.8%
消費税など行財政改革 7.7%
憲法改正 5.5%
外国人に関する政策 2.7%
政治とカネの問題など政治改革 2.2%
ジェンダー(選択的夫婦別姓制度を含む)問題 2.7%
その他 4.4%
無回答 2.2%

筑波雑感

若い頃から言葉に親しむのが好きだった。小学生の頃は難読漢字の学習に没頭し、見ることがない漢字に出会ううれしくなった。中学生で英語の勉強を始めてからは、日本語と文法が異なることが面白く、英作文を書き始めるようになった。そうして言葉に親しむ中で、筑波大で言語学を学ぶことを決めた。言語学は実社会で使われている言語について、その構造や表現を科学的に分析するもので、「正しい日本語」が何かを問う学問ではない。だが、大学新聞の学生記者として記事を書く際には、用字用語規則に従い、「正しい日本語」を書く必要がある。表記が乱れると、読者の混乱を招いてしまうことがあるから、言

附属病院に「ファシリテッドッグ」導入 子供に寄り添い心のケア



西尾副学長と触れ合うファシリテッドッグの「ミコ」
(1月29日、本部棟で)

筑波大附属病院は1月29日、闘病する子供たちを元気づける「ファシリテッドッグ」を来月4月から小児科病棟に導入すると発表した。国立大病院での導入は全国で初めて。

(結城希二国際総合学類3年、写真も)

ファシリテッドッグは病 患者に寄り添い、不安を和らげ、検査やリハビリに同行するなどして、これまでの治療では不十分だった心のケアに携わる。

同日の記者会見ではファシリテッドッグでフアラドルレトリバーの「ミコ」(3歳メス)が登場し、西尾副学長(広報担当)の膝の上に乗って触れ合うなどのデモンストレーションを行った。

平松祐司院長は「ファシリテッドッグは言葉では言い表せない不思議な力を持っている。子供たちの心の支えとなり、生命力を引き出ししてほしい」と話す。この事業はファシリテッドッグの育成や普及に取り組むNPO法人「シャイ

ン・オン・キッズ」(東京都中央区)と協働しており、同NPOから看護師資格を持ったハンドラーとファシリテッドッグが派遣される。同病院は初期費用や年間1240万円の活動費などを賄うため、今年3月からクラウドファンディングを実施する。目標は2200万円。この他、関彰商事(本社・筑西市)つくば市)からも支援を受けることになっている。

誰もが安心してできる場所 「本と喫茶サッフォー」

松見公園近く

つくば市の松見公園に近い路地裏を進むと、猫が目印の看板が迎えてくれる。2階建ての集合ビル1階奥にあるブックカフェ「本と喫茶サッフォー」(同市天久保)だ。フェミニズムやジェンダーを中心とした約2000冊が並び、大型書店でも置いていない本に出会える評判だ。性的少数者や障害者も含め、誰もが安心して過ごせる「セーフスペース」でもある。店主の山田亜紀子さん(52)は「さまざまな事情で孤立しがちな人にとっての居場所になれば」と話す。

店内に足を踏み入れると、レインボーフラッグや「見た目で相手のジェンダーや国籍を決めつけないでね」と書かれた手書きボードが目に入った。訪れる人の性別や性自認、障害、国籍などはさまざま。奥のソファでコーヒーを片手に



レインボーフラッグが飾られた店内で自身が編集した雑誌を持つ山田さん(1月25日、つくば市久保で)

た。その後、出版社「現代書館」(本社・東京都千代田区)の編集者となり「フェミニズム雑誌」シモーヌ」の創刊などにも携わった。高校生の時にフランスの映画監督、アニエス・ヴァルダの存在を知り、フェミニズムに関心を持った。彼女の作品のひとつ「歌う女」歌わない女」はフランスの17年頃から「#MeToo運動」などの広がりにより、フェミニズムへの関心が高まった。一方で、SNS(ネット交流サービス)では性的少数者や障害者への差別的な書き込みも相次ぎ、「マイノリティがつかえる場所が必要だ」と考えられるようになった。さらにつくばの大形書店では、フェミニズム関連の書籍を見つけないこともあり、地元で書店を開くと決意した。

近隣には障害者が運営する自立生活センターや、障害者の就労支援事業所もあり、車椅子の客もよく来店する。店内はつくば市の合理的配慮の補助金を活用してバリアフリー化され、障害者福祉分野の書籍も充実している。フェミニズムを差別的な観点から考えないという差別は「ならない」と思うからだ。

筑波大生との交流もある。一般学生団体「SOD A」は昨年の筑波大学学園祭(雙峰祭)で、セルフケアやジェンダーの観点からカバンの持ち物について考察した展示を企画。合わせて小冊子「わたしのカバ」はなぜ重い?」を製作し、展示スペースで販売した。雙峰祭終了後、サッフォーの店頭でウェブショップで一般発売したところ、初版100部は約1カ月半で完売。反響を受けて120部を重版した。

同団体代表の坂井和心さん(社会学3年)は「サッフォーさんのSNSフォロワーを中心に広がり、幅広い人たちの手に取ってもらえた。店内の棚を眺めれば眺めるほど欲しい本が見つかる」と話す。山田さんは「なんとなく生きづらいと感じている人にぜひサッフォーを利用してほしい。生きづらさの原因が社会構造や制度にあると気づくだけで少し楽になるかもしれない。気軽に立ち寄り、本から生き延びる知恵を学んでほしい」と話した。

「資産運用セミナー」開催 筑波大の取り組み他大に紹介

事業・ファイナンス局は1月23日、全国の国立大の資産運用担当職員を対象とした「資産運用セミナー」を東京キャンパス(東京都文京区)で開催した。筑波大は2024年9月、政府がまとめた機関投資家向けの行動規範「アセットオーナー・プリンシプル(AOP)」を国立大で初めて受け入れた。セミナーではAOPを巡る筑波大の取り組みなどについて野手弘一副学長(資産運用担当)が講演し、参加者と意見交換した。

(飯野歩)



筑波大の取り組みについて講演する野手副学長(1月23日、東京キャンパスで) =川畑悠成撮影

セミナーには国立大をはじめ文部科学省や内閣官房、金融庁など27機関から56人が参加した。AOPは24年8月に、政府の内閣官房が策定した。アセットオーナー(公的年金、共済組合、企業年金、保険会社、大学ファンド・資産運用を行う学校法人など)が、状況に応じて適切な運用成果を得られるようにするための共通原則だ。法的拘束力はないものの、

運用目的に合った運用目標や運用方針の策定、その実現に必要な体制整備など5つの原則が盛り込まれた。セミナーでは、内閣官房の中村香織企画官がAOPの枠組みやアセットオーナーの役割などを説明し、国立大でのAOP受け入れ拡大を訴えた。

続いて、野手副学長が筑波大の事例を交えながら、国立大法人の資産運用とAOPの活用について講演した。野手副学長は「大学においては長期的な視点に立った責任ある資産運用が求められる」と指摘、AOPは、資産運用の設計図になると強調した。

筑波大は同年4月に事業・ファイナンス局を新設し、資産の運用収入の増加と資産運用ができる人材育成を掲げた。国立大全体の

ラグビー部 ジャージで「デイベア」 就労支援所と連携

筑波大ラグビー部は、使わなくなった歴代公式ジャージをアップサイクルして「デイベア」を製作する「つくばア・Future Blue」プロジェクトに取り組んでいる。筑波大が昨年12月に出場した全日本ラグビー選手権準々決勝の会場となった秩父宮ラグビー場(東京都港区)のフリース10体を取り扱ったところ、数分で完売した。(惣田聖二心理学類2年)

アップサイクルとは、使わなくなったものに付加価値を与え、別の製品に生まれ変わらせること。今回は、障害者の就労支援事業所「CWらぼ つくば」(つくば市天王台)と協働し、

などを自指す非営利組織である「つくばスクラム」(つくば市天王台)と協働し、障害者の就労支援事業所「CWらぼ つくば」(つくば市天王台)と協働し、



つくべアを手を持ち笑顔を見せる西村さん(左)と田島さん(1月23日、中央図書館で) =小川優羽撮影

ば市竹園)に「デイベア」の製作を委託した。同事業所では、障害者が手縫いの刺しゅうを施したイヤリングやトートバッグなどを製作している。デイベア「つくべア」に生まれ変わったのは、デザインの変更などで使わなくなった後も、ラグビー部が保管してきた歴代のジャージだ。一つ一つ作業で作られた「つくべア」は、座った状態で高さ約22センチ。ジャージ一枚につき1体作成できるという、筑波大のイメージカラーである「ブルー」を取り扱った。チャールズが鮮やかだ。全日本ラグビー選手権のフリースでは1体4500円(税込)で取り扱った。

ラグビー部は競技普及と地域交流を目的に、2020年からつくば市内の小学校や保育園でラグビーボールと触れ合ってもらうイベントなどを企画してきた。今回のプロジェクトは、そうした地域とのつながりを発展させるもので、来季も「CWらぼ つくば」(つくば市天王台)と協働し、「つくべア」の製作に取り組む計画だ。同事業所にジャージを届けた田島汰一さん(社会学2年)は「ラグビー人口は年々減少している。ラグビー部が地域を盛り上げていく担い手になるためにも、CWらぼ つくばの方とつながれたことは大きい」と話す。「つくべア」の広報を担当したラグビー部マネージャーの西村修さん(比文学部1年)は「ラグビー部は地域と運動しながら日本一を目指している。ジャージの枚数に限りがあり、つくべアを作り続けることができないが、新たな企画を考えたい」と話した。

広告欄

掲載のお問い合わせは

shinbun@un.tsukuba.ac.jp

までお願いします。

退職教員4人に聞く

教育者・研究者人生の軌跡

学際性の高い教育研究に取り組む筑波大。教員も多彩な人材がそろっている。定年を迎えた4人の教授に、これまでの軌跡や筑波大生へのメッセージを聞いた。(鈴木華、松尾有姫、望月柚那、比較文化学類、吉田花、日本語・日本文化学類、川上真生、社会学類、結城希、国際総合学類、壬生泰太、地球学類、川畑悠成、知識情報・図書館学類、大成夏生、第1類)

若者の

生きづらさを分析

山口県玖珂町(現岩国市)出身。中学時代に陸上800mの県大会で2年連続優勝し、強豪高校からスポート推薦の誘いもあったが、「やりたいことはこれではない」と地元岩国高に進学した。その後、地元ではない世界で社会問題に取り組みたい」と筑波大に入学した。当時、社会学類に進学した。当時、生きた若者たち(岩波書店)など一般向けの著書も多い。それらは、若者自身が現代社会を客観的に理解し、自らの置かれている状況を知ることで現状を打開する手がかりにもなっている。

AS日本初メダリスト

筑波大大学院在学中だった1984年のロサンゼルス五輪シンクロナイゼドスイミング(現アーティスティックスイミング、AS)のソロ、デュエットで銅メダルを獲得。引退後は体育科学分野でコーチングやASの研究を進める一方、2016年のリオ五輪では日本水泳連盟のシンクロ委員長として強化にあたり、チームとデュエットでの銅メダル獲得を支えた。



土井隆義 教授(人社系)

山口県玖珂町(現岩国市)出身。中学時代に陸上800mの県大会で2年連続優勝し、強豪高校からスポート推薦の誘いもあったが、「やりたいことはこれではない」と地元岩国高に進学した。その後、地元ではない世界で社会問題に取り組みたい」と筑波大に入学した。当時、社会学類に進学した。当時、生きた若者たち(岩波書店)など一般向けの著書も多い。それらは、若者自身が現代社会を客観的に理解し、自らの置かれている状況を知ることで現状を打開する手がかりにもなっている。

日本にメダル取り戻す



本間三和子 教授(体育系)

一つ上の姉の影響で小学6年生の秋にASを始めたが、成績は思うように伸びず、大学では競泳に転向しようと思っていた。筑波大体育専門学群に進んだのは

「父親との仲が悪く、実家のある大阪市から遠い大学に進学したかった」からと笑う。だが、コーチや母に引き留められ、ASを続けることになった。ところが、筑波大にはASチームがなく、練習のために毎週大阪のソロ、デュエットで銅メダルを獲得。引退後は体育科学分野でコーチングやASの研究を進める一方、2016年のリオ五輪では日本水泳連盟のシンクロ委員長として強化にあたり、チームとデュエットでの銅メダル獲得を支えた。

同輩初の初年次チュートリアル教育導入を主導した。本紙との関わりも深い。教職員で構成される筑波大学新聞編集委員会の創設を主導し、18年2月の設置後は委員長を4年間務めた。同委員会は大学新聞の中立性を確保する存在で、「大学新聞の発行費は大学が出しているが、公正な報道でジャーナリズムを守ることは大学にとっても誇りとなる。筑波大の約35年間で最も印象に残る出来事だった」と語る。

医療データ分析で患者を支える

患者のデータを分析し、医療が必要な人に確かに届いているかを評価するヘルプ・サバイバー・チーフの第一線で研究してきた。小学4年の時に生後間もない妹が病院で知的障害と診断された。途方に暮れる母に地域の保健師が障害児の親の集まりや発達支援機関を紹介する姿を見て、患者を救うのは医療だけではなかった。「医療はその後の人々の生活を支える」

コンパクトシティ

専門は社会学で、都市機能を中心部に集約するコンパクトシティという考え方をいち早く提唱した。高度経済成長のさなか、地元・神戸市の海が都市開発で次々と埋め立てられていく姿を見て育った。「このままでは長くなるのか」という疑問を持ち、都市の持続可能性について学ばないといけない。だが、コンパクトシティに配属した都市計画分野は競争相手がおらず、今となっては博士課程に進学して良かったと感じる。



谷口守 教授(シス情系)

「コンパクトシティ」という考え方をいち早く提唱した。高度経済成長のさなか、地元・神戸市の海が都市開発で次々と埋め立てられていく姿を見て育った。「このままでは長くなるのか」という疑問を持ち、都市の持続可能性について学ばないといけない。だが、コンパクトシティに配属した都市計画分野は競争相手がおらず、今となっては博士課程に進学して良かったと感じる。



田宮菜奈子 教授(医学医療系)

生活に繋がらなければいけないことに対する驚きを日常生活のさまざまな局面で大事にしてほしい。見知らぬ人や新しい物事に驚嘆し、それらと積極的に関わることが、自分の新たな可能性に気づくことができ、人生を豊かにしてくれる」と語る。

信念曲げないで

と考えられ、後の低所得者対策につながった。05年に日本初のヘルプ・サバイバー・チーフに特化した研究室を開設。17年には筑波大ヘルプ・サバイバー・チーフ研究センターのセンター長に就任し、他分野の研究者や企業とも協働してきた。「チーフは国民の宝。それを分析し還元するのは研究者の義務」だという思いで続けた、医療と介護をサバイブとして俯瞰する研究が評価され、昨秋には日本医師会医学賞を受賞した。今後は特任教授として筑波大で研究を続けるが、ヘルプ・サバイバー・チーフの考え方を伝える講演などにも出向きたいという。「人生は自分のやりたいことだけできるわけではないが、最後まで信念を曲げないで、筑波大生へのメッセージだ。」

もっと自信を持って

一方で、学生の指導にも力を入れ、優秀な学生の研究成果は積極的に学会の表彰制度などに推薦した。これまでの15年間で、主宰する近未来計画学研究室の学生が127件の表彰を受けたという。退職後も都市・交通計画分野に携わり、社会貢献したいと考えている。筑波大生に向けては「筑波大生は非常に誇りに思っている。内にも秘めている力はあるので、もっと自分に自信を持ってほしい」と呼びかけた。

思い出胸に 次の舞台へ 羽ばたくアスリート

スポーツの強豪校でもある筑波大。今年も、4年間活躍したアスリートたちが次の舞台へと旅立つ時期がやってきた。その中でも名を上げた6人の選手に、選手生活や新天地での抱負を語ってもらった。(望月柚那、松尾有姫、比較文化学類、吉田花、日本語・日本文化学類、川上真生、社会学類、山本貴世、結城希、国際総合学類、川畑悠成、知識情報・図書館学類、飯野歩、第1類)

バスケット

朝比奈あずさ(体育4年)



年時に日本のA代表に選出され、アジア競技大会やアジア・カップに出場。両大会でチームの準優勝に貢献した。

横浜市出身。小学5年時に競技を始め、中学ではU13(13歳以下)、U14(14歳以下)の日本代表に選出された。高校は親元を離れ、強豪校の桜花学園高校(名古屋市中昭和区)に進学。高校3年時は主将として、チームを全国高校総体(インターハイ)と全国高校選手権(ウィンターカップ)の優勝に導いた。



チームをインターハイ3位に導いた朝比奈あずさ(本人提供)

五輪で活躍続けたい

練習を重ねた。ボール奪取精度を高めるとともに、的確な状況判断能力を身につける必要がある」という。卒業後はWリーグのトヨタ紡織サンシャインレビッツ(愛知県刈谷市)に加入する。2年後のロス五輪だ。2023年の全日本選手権で、主将に就任した朝比奈は、代表として長く活躍し、勝利に貢献できる選手になりたい」と意気込む。

サッカー

佐藤瑠星(体育4年)



身長190cm、体重86kg。恵まれた体格と高い運動能力を生み出す守備範囲の広さが持ち味のゴールキーパー(GK)で、筑波大学にも体力的にもつきつかった。筑波大で箱根駅伝に出場したいという気持ちが原動力になったと振り返る。出走回数の規定で6年時の予選会は参加できなかったが、当日まで部員のサポート役を務め続けた。



インカレ決勝で無失点の活躍を見せた佐藤瑠星(蹴球部提供)

自分のプレー プロでも発揮

卒業後は、3年時に内定を得ていたJ1浦和レッズ(さいたま市)でプロとしてのキャリアをスタートさせる。「蹴球部での活動で確立した自分のプレーをプロの世界でも発揮したい。まずは開幕スタメンを目指し」と闘志を燃やす。

陸上

塚田萌成(医学6年)



医学類生ながら陸上競技部に所属し、男子長距離プロジェクトの主力としてチームをけん引してきた。昨年11月の「つくばマラソン」では、マラソン初出場ながら、2時間17分41秒で駆け抜け、初優勝した。

五輪で活躍続けたい

大会への帯同経験がある医師が多く在籍していることも魅力を感じた。現役では不合格となったものの、1年間の猛勉強の末に医学部に入学した。

地元が舞台となる東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)には、幼い頃から親しんでいたが、「医師を目指す自分にとっては、遠い存在だった」という。2020年の第96回大会に筑波大が26年ぶりに出場

バレー

本田凜(体育4年)



コート移動しながらスパイクするブロード攻撃を得意とするミドルブロッカー。得点を量産する絶対的エースで、主将としてチームをけん引し続けた。2023年の全日本学生選手権(インカレ)でスパイク賞、24年の同大会でブロック賞、25年の黒鷲旗全日本男女選抜では黒鷲賞(MVP)を受賞するなど多くの結果を残し、ブロードの更なる飛躍が期待されている。



インカレ決勝でサーブを打つ本田凜(2024年12月1日、船橋市総合体育館で撮影) (本人提供)

ディクショニング調整、レース中の作戦が結果に直結するところが面白かった」という。そうした中、活躍が期待されていた陸上部の先輩や同級生がけがで試合に出場できなくなる姿を見て、アスリートのけがの治療や予防に関わるスポーツドクターになりたいと考えるようになった。

卒業後は茨城県内の病院で研修医となり、スポーツドクターへの道を歩み始める。「競技中のけがだけでなく内科的な疾患など、スポーツドクターの活躍の幅は広い。精神的な

スポーツドクターの道歩む

「部内7位以上」という目標をクリアする走りができ、自信が湧いた。4年時の予選会はチームでトップの走りをみせた。病院実習が始まり一段と忙しくなる中、他の部員よりも早く朝練習を始め、合宿に参加できない時には実習後に同程度の練習量をこなした。「精神的

医学類生ながら陸上競技部に所属し、男子長距離プロジェクトの主力としてチームをけん引してきた。昨年11月の「つくばマラソン」では、マラソン初出場ながら、2時間17分41秒で駆け抜け、初優勝した。



箱根駅伝予選会でチームトップの走りを見せる塚田萌成(本人提供)

「部内7位以上」という目標をクリアする走りができ、自信が湧いた。4年時の予選会はチームでトップの走りをみせた。病院実習が始まり一段と忙しくなる中、他の部員よりも早く朝練習を始め、合宿に参加できない時には実習後に同程度の練習量をこなした。「精神的な

日本背負う選手になる

だが、先輩の佐藤淑乃(N Eクレッドロケット川崎)と5年連続で優勝し、自身もスパイク賞に輝いた。「どこにも負けないチーム」と思っていたが、優勝した瞬間はうれしいうれしいというより、ほっとしている時が一番強い」といっている。

だが主将になった4年時は苦しいことが多かった。インカレ3連覇を期待され

「一つ上の姉の影響を受けて中学1年時に競技を始め、高校も姉と同じ郡山女子大附属高校(福島県郡山市)に進学。全日本高校選手権(春高バレー)に3年連続出場したものの、目立った成績は残せなかった。

大学ではもっと上の環境に身を置き、日本一を目指したいと考え、筑波大の門をたたいた。1年生の秋から試合に出場したが、先輩たちに迷惑をかけないようについていくのに必死だった。

卒業後はSVリーグの東レアロース滋賀に所属し、プロとして競技を続ける。「178cmという自分の身長は世界でも小さく、シャープな力を最低でも発揮したい。筑波大の先輩方のように、日本を背負う選手になれれば」と意気込む。



クロスバイク クラッシュ

森秋彩(体専4年)



パリ五輪の女子複合では4位とメダルにあと二歩届かなかったが、得意のロードではトップの記録を残した。また、リードジャパンカップで6連覇するなど



2024年リードジャパンカップで課題(コース)に挑む森(本人提供)

数々の偉業を成し遂げてきた。154号と小柄だが、持ち前の持久力と柔軟性を生かして難しい課題を軽やかにこなしていく。

つくば市で育ち、小学1年時にスポーツクライミングを始めた。初めは遊び感覚だったが、小学3年時にイタリアで開かれた国際大会で優勝してからは、競技として取り組むようになった。高校は競技と学業を両立しやすい単位のつくば

立しやうと再認識してきた」と語る。筑波大に進学したのは、地元であることに加え、科学や社会などさまざまな視点からスポーツについて学べると思ったから

登ることの魅力伝えたい

卒論のテーマは「なぜアスリートは競技を楽しめるのか」。ファンやメ

ディアはアスリートの発言や性格を誇張して理想化したり、競技成績のみが価値のように捉えたりすること

パワーを生かした鋭いサーブが持ち味。相手の目を見つめ、強烈なフォアハンドエースを奪うプレーを得意としてきた。

筑波大に進学したのは、高校3年時にテニスの練習に参加し、自由度が高い雰囲気引かれたから。スポーツ栄養学や運動学など体育専門学群の授業は競技に生かせることも考えた。

1年時の全日本学生選手権(インカレ)はシングルスで初戦敗退した。新型コロナウイルス感染症から回復後の大会で、試合中に太ももや背中、腕などが次々につまづき、全日本学生室内テニス

手術を受けた。秋には復帰したものの、肘の痛みはまだまだ残っていたという。それでも4年時から、本格的にプロを目指し、主戦場をITFのツアー下部大会に移した。昨年6月に大会に移した。昨年6月に札幌市で開かれた大会では2週連続優勝を果たした。

10月からは橋本総業(名古屋市中区)と契約を結んでプロに転向した。「プロの世界は厳しいが、試合で学べることも多く、楽しい。世界4大会の本戦でベスト8入りができる選手になりたい」と語った。

テニス

吉本菜月(体専4年)



山形県)に進学。1年時のJOCジュニアオリンピック全日本ジュニア選抜室内テニス選手権でシングルス4位、3年時の全国高校総体(インターハイ)で団体優勝、個人3位という成績を残した。

筑波大に進学したのは、高校3年時にテニスの練習に参加し、自由度が高い雰囲気引かれたから。スポーツ栄養学や運動学など体育専門学群の授業は競技に生かせることも考えた。

1年時の全日本学生選手権(インカレ)はシングルスで初戦敗退した。新型コロナウイルス感染症から回復後の大会で、試合中に太ももや背中、腕などが次々につまづき、全日本学生室内テニス

手術を受けた。秋には復帰したものの、肘の痛みはまだまだ残っていたという。それでも4年時から、本格的にプロを目指し、主戦場をITFのツアー下部大会に移した。昨年6月に大会に移した。昨年6月に札幌市で開かれた大会では2週連続優勝を果たした。

10月からは橋本総業(名古屋市中区)と契約を結んでプロに転向した。「プロの世界は厳しいが、試合で学べることも多く、楽しい。世界4大会の本戦でベスト8入りができる選手になりたい」と語った。

手術を受けた。秋には復帰したものの、肘の痛みはまだまだ残っていたという。それでも4年時から、本格的にプロを目指し、主戦場をITFのツアー下部大会に移した。昨年6月に大会に移した。昨年6月に札幌市で開かれた大会では2週連続優勝を果たした。

Hello! 先端研究



山川啓介助教

水中ドルフィンキックは、両足をそろえ、イロカのように体を滑らかに上下にしながら進む潜水泳法だ。水泳競技では自由形やバタフライのスタートとターンの後、水中から浮上する際に使われ、その速度が勝敗の行方を左右する。

その結果、速く泳げる選手は、下肢を蹴り下げる際に肩関節を前方に大きく伸ばし、腕をほぼ水平に保つことで、上半身を細くまっすぐに維持していることが分かった。

腕がよく運動し、脚部が大きく動いても上半身を一直線に保つことができている。これにより、水から受ける抵抗が少なくなると考えられた。

山川助教によれば、運動学シナジー解析を用い、水泳の動作を構成する関節の協調パターンを特定した研究は、これまでなかったという。

山川助教は現在、今回の手法を用いたバタフライの泳法解析に取り組んでいる。「こうした手法を動作解析に幅広く適用

これらの発見の基となるデータは、選手たちが水中ドルフィンキックを行ったプール側面の水中窓の前にビデオカメラを置き、撮影した映像から、腕、体幹、脚部の計7カ所に付けた目印の位置情報をコンピュータで解析して取得した。

運動学シナジー解析は人間の筋肉や関節は独立してさまざまな動き

をすることができると想定していたが、実際には、それぞれの動きが個別に制御されるのではなく、一定の関係(シナジー)をもち、協調して動いている。それらのうち、関節の運動で構成されるシナジーを解析する手法のこと(望月柚那比較文化学類1年)

私は第61次南極地域観測隊の同行者として約4カ月間、南極で活動してきた。国立極地研究所などが行う「教員南極派遣プログラム」に応募し、全国から1人、茨城県からは初めて選ばれた。

南極での観測中、ふと振り返ると「おーい、きたさわせんせい」と呼ぶかのように、両手を広げて追いかけてくるアデリーペンギンの姿があり、好奇心旺盛で愛らしく感じたが、過酷な環境の中で生きるたくましさも感じた。私は南極でヒトのちっぽけさと人間の魅力を感じた。

5歳年下の妹は先天性の難病があり、私は医師を志していた。高校時代、片道約2時間かけて県立水戸第一高校(水戸市)まで通学したが、医学部受験は不合格。思い悩んでいた時、妹の主治医に「あなたが向き合いたいのは、人なのか、病なのか」と問われ、胸に響いた。考えを巡らせていた時、高校の恩師に「北澤が教師になったら面白いかもしれない」と言葉がけられ、教師になろうと決意した。そして、東京学芸大で小・中高(理科)の教員免許を取得し、理科教育学を深めたく筑波大大学院教育研究科(当時)へ進学した。

南極との出会いは、大学院1年時の時。観測隊員だった筑波大の教授の講義を受け、南極に憧れた。調べていく中で、「南極は、科学も育てるが、人間も育てる」という国立

部が協調して動いているのか、なほこれまで分かっていなかった。

腕がよくなる運動し、脚部が大きく動いても上半身を一直線に保つことができている。これにより、水から受ける抵抗が少なくなると考えられた。

山川助教によれば、運動学シナジー解析を用い、水泳の動作を構成する関節の協調パターンを特定した研究は、これまでなかったという。

これらの発見の基となるデータは、選手たちが水中ドルフィンキックを行ったプール側面の水中窓の前にビデオカメラを置き、撮影した映像から、腕、体幹、脚部の計7カ所に付けた目印の位置情報をコンピュータで解析して取得した。

運動学シナジー解析は人間の筋肉や関節は独立してさまざまな動き

をすることができると想定していたが、実際には、それぞれの動きが個別に制御されるのではなく、一定の関係(シナジー)をもち、協調して動いている。それらのうち、関節の運動で構成されるシナジーを解析する手法のこと(望月柚那比較文化学類1年)

私は第61次南極地域観測隊の同行者として約4カ月間、南極で活動してきた。国立極地研究所などが行う「教員南極派遣プログラム」に応募し、全国から1人、茨城県からは初めて選ばれた。

南極での観測中、ふと振り返ると「おーい、きたさわせんせい」と呼ぶかのように、両手を広げて追いかけてくるアデリーペンギンの姿があり、好奇心旺盛で愛らしく感じたが、過酷な環境の中で生きるたくましさも感じた。私は南極でヒトのちっぽけさと人間の魅力を感じた。

5歳年下の妹は先天性の難病があり、私は医師を志していた。高校時代、片道約2時間かけて県立水戸第一高校(水戸市)まで通学したが、医学部受験は不合格。思い悩んでいた時、妹の主治医に「あなたが向き合いたいのは、人なのか、病なのか」と問われ、胸に響いた。考えを巡らせていた時、高校の恩師に「北澤が教師になったら面白いかもしれない」と言葉がけられ、教師になろうと決意した。そして、東京学芸大で小・中高(理科)の教員免許を取得し、理科教育学を深めたく筑波大大学院教育研究科(当時)へ進学した。

南極との出会いは、大学院1年時の時。観測隊員だった筑波大の教授の講義を受け、南極に憧れた。調べていく中で、「南極は、科学も育てるが、人間も育てる」という国立

部が協調して動いているのか、なほこれまで分かっていなかった。

部が協調して動いているのか、なほこれまで分かっていなかった。

腕がよくなる運動し、脚部が大きく動いても上半身を一直線に保つことができている。これにより、水から受ける抵抗が少なくなると考えられた。

山川助教によれば、運動学シナジー解析を用い、水泳の動作を構成する関節の協調パターンを特定した研究は、これまでなかったという。

これらの発見の基となるデータは、選手たちが水中ドルフィンキックを行ったプール側面の水中窓の前にビデオカメラを置き、撮影した映像から、腕、体幹、脚部の計7カ所に付けた目印の位置情報をコンピュータで解析して取得した。

運動学シナジー解析は人間の筋肉や関節は独立してさまざまな動き

をすることができると想定していたが、実際には、実際には、それぞれの動きが個別に制御されるのではなく、一定の関係(シナジー)をもち、協調して動いている。それらのうち、関節の運動で構成されるシナジーを解析する手法のこと(望月柚那比較文化学類1年)

私は第61次南極地域観測隊の同行者として約4カ月間、南極で活動してきた。国立極地研究所などが行う「教員南極派遣プログラム」に応募し、全国から1人、茨城県からは初めて選ばれた。

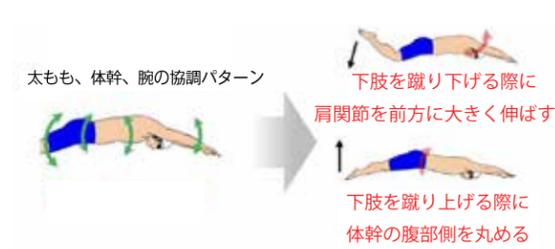
南極での観測中、ふと振り返ると「おーい、きたさわせんせい」と呼ぶかのように、両手を広げて追いかけてくるアデリーペンギンの姿があり、好奇心旺盛で愛らしく感じたが、過酷な環境の中で生きるたくましさも感じた。私は南極でヒトのちっぽけさと人間の魅力を感じた。

5歳年下の妹は先天性の難病があり、私は医師を志していた。高校時代、片道約2時間かけて県立水戸第一高校(水戸市)まで通学したが、医学部受験は不合格。思い悩んでいた時、妹の主治医に「あなたが向き合いたいのは、人なのか、病なのか」と問われ、胸に響いた。考えを巡らせていた時、高校の恩師に「北澤が教師になったら面白いかもしれない」と言葉がけられ、教師になろうと決意した。そして、東京学芸大で小・中高(理科)の教員免許を取得し、理科教育学を深めたく筑波大大学院教育研究科(当時)へ進学した。

南極との出会いは、大学院1年時の時。観測隊員だった筑波大の教授の講義を受け、南極に憧れた。調べていく中で、「南極は、科学も育てるが、人間も育てる」という国立

部が協調して動いているのか、なほこれまで分かっていなかった。

速く泳げる選手の特徴



研究で明らかになった泳ぎが速い選手に見られる動作の特徴=山川助教提供の資料を基に作成

「南極魂」を伝えていく

教授は理科と道徳と二つをテーマで展開した。私は理科教師として、南極授業でも生きたままの姿を観察してもらいたいと思い、南極海で生物採取と飼育に挑戦した。今でも教員で誰も試みたことがない挑戦だった

道徳では、南極での共同・協働生活の中で実感した「人間も育てる」「南極の自分なりの答えを伝えたい。何事も他人任せせず、他者の幸せを願い、共有していく」とする「ともに生きる心」。私はその心を「南極魂」と名付けた。

帰国後、私は「南極せんせい」として学校をはじめさまざまなところで講演などを続けている。筑波大で学んだことが糧になり、理科教師としての軸になっていると振り返る。そして何より、恩師や先輩、後輩、仲間との出会いに尽きる。

手紙

私は第61次南極地域観測隊の同行者として約4カ月間、南極で活動してきた。国立極地研究所などが行う「教員南極派遣プログラム」に応募し、全国から1人、茨城県からは初めて選ばれた。

南極での観測中、ふと振り返ると「おーい、きたさわせんせい」と呼ぶかのように、両手を広げて追いかけてくるアデリーペンギンの姿があり、好奇心旺盛で愛らしく感じたが、過酷な環境の中で生きるたくましさも感じた。私は南極でヒトのちっぽけさと人間の魅力を感じた。

5歳年下の妹は先天性の難病があり、私は医師を志していた。高校時代、片道約2時間かけて県立水戸第一高校(水戸市)まで通学したが、医学部受験は不合格。思い悩んでいた時、妹の主治医に「あなたが向き合いたいのは、人なのか、病なのか」と問われ、胸に響いた。考えを巡らせていた時、高校の恩師に「北澤が教師になったら面白いかもしれない」と言葉がけられ、教師になろうと決意した。そして、東京学芸大で小・中高(理科)の教員免許を取得し、理科教育学を深めたく筑波大大学院教育研究科(当時)へ進学した。

南極との出会いは、大学院1年時の時。観測隊員だった筑波大の教授の講義を受け、南極に憧れた。調べていく中で、「南極は、科学も育てるが、人間も育てる」という国立

部が協調して動いているのか、なほこれまで分かっていなかった。

部が協調して動いているのか、なほこれまで分かっていなかった。



ミュージアムパーク茨城県自然博物館 主任学芸員 北澤佑子さん

が、観測隊や海上自衛隊の皆さんが理解し、協力してくれ成功した。南極での経験を、本物・実物を用いた観察実験の重要性を改めて認識した。

「南極魂」を伝えていく。教授は理科と道徳と二つをテーマで展開した。私は理科教師として、南極授業でも生きたままの姿を観察してもらいたいと思い、南極海で生物採取と飼育に挑戦した。今でも教員で誰も試みたことがない挑戦だった

津田が女子単複2冠 ダブルスは吉田とペア

室内インカレ



賞状とトロフィーを手に優勝を喜ぶ津田(右)と吉田=本人提供

全日本学生室内テニス選手権(室内インカレ)が昨年12月7〜14日に有明テニスの森公園(東京都江東区)で行われ、津田梨央(体専1年)が女子シングルスで優勝した。津田は吉田琴美(同2年)と組んだ同ダブルスでも優勝し、単複2冠となった。筑波大学女子選手の単複同時優勝は2023年の吉本菜月(同4年)以来2人目の快挙だ。(松尾有姫II比較文化学類2年)

テニス

これで勢いに乗った津田は、ラウンドで相手を翻弄して第2セットも6-1で奪い、優勝を決めた。女子ダブルス決勝はシングルス決勝終了から約1時間半後に始まった。筑波大ペアは松村と長谷川菜香の亜細亜大ペアと対戦。昨年9月の関東大学リーグでは敗れていた相手だった。「先輩として引く張れる不安があった」という吉田だが、第1セット1ゲーム目のファーストサーブを全て決めた。津田が相手のリターンをボレーする連発プレーでこのゲームをキープすると、そのまま6-0で第1セットを奪った。

第2セットは相手ペアもボレーなどで好プレーを見せ、3-3と並んだ。だが、第8ゲームで相手サーブのブレイクに成功すると、第9ゲームも奪って6-3とし、優勝を決めた。単複2冠の津田は「夏のインカレに続き、室内も優勝できて自信になった。吉田さんのプレーに安心感があり、ダブルスはこのびのびと戦えた」と振り返る。

一方、前年の室内インカレ女子ダブルスで準々決勝敗退だった吉田は「1年生だった前は緊張で萎縮し、悔しい思いをした。今回は自分のプレーができた」と初優勝を喜んだ。

ア大会 種目別ベンチプレスで銀

教育推進課 安倍課長

教育推進課の安倍英紀課長(48)が、トルコ・イスタンブールで昨年12月に開かれたパワーリフティングのアジア大会「アジアアマスターズ&オープン・クラシック」で銀メダルを獲得した。教育推進課の教育推進課長として、指導を受けるようになった。24年からはスクワット、デッドリフトも含めたパワーリフティングの練習を始め、同年12月にウズベキスタンで開催されたアジア大会で銅メダルを獲得した。



メダルを首にかけ笑顔を見せる安倍さん

現在は、専門ジムのパワーハウスつくば(つくば)市谷田部で週に4回、3時間程度練習している。教育推進課の業務が長引き、練習時間が十分に取れない日もあるが、練習内容に優先順位をつけるなどして競技と両立させている。高松市総合体育館(高松市)で先月開催された全日本ベンチプレス選手権のエキップ部門63kg級マスタートップで優勝し、5月にポーランドで開催される世界大会への出場を決めた。エキップ部門は持ち上げる力を高める装備を着用して競技を行う。「自己ベストを更新して6位以内に入りたい。年齢や環境で夢を諦めず、挑戦を続ける」と意気込んだ。

箱根駅伝 川崎1区で区間新相当

16キロ地点で一時先頭に

【東京都港区で吉田花II日本語・日本文化学類1年、川畑悠成II知識情報・図書学類2年】第102回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)が1月2、3日に開催された。川畑(体専3年)が関東学生連合(関学連)の一員として往路1区(21・3km)に出場し、従来の区間記録を5秒上回る1時間0分38秒で区間3位相当となる好走を見せた。関学連はオープン参加のため参考記録となる。

陸上



筑波大は昨年10月の予選会で16位となり、6年ぶりに本戦出場を逃した。しかし、川畑は予選会の個人記録で全体19位、日本人10位となり、関学連のメンバー(前(東京都千代田区)。17



1区でトップ争いを演じた川畑(1月2日、東京都港区で) = 川畑悠成撮影

川畑は前半10キロをトラックの1万5千の自己記録より9秒早い28分23秒で走り、15・2キロ地点(東京都大田区蒲田)はトップと5秒差の2位で通過した。15キロ以降は、更にスピードを上げ、集団を引っ張るという想定通りのレース展開ができたという。川畑は「16キロ付近で家族が応援に来てくれることに気がついた。自分の名前を呼ぶ声が聞こえて励みになった。家族に先頭を走る姿を見せることができてうれしい。第三者の視点から見てもかっこいい走りが見えた」と振り返る。

大会を終えて川畑は「区間新相当のタイムを出せる」とは思っておらず驚いた。先頭でレースを引っ張る経験ができたことは、大きな自信になった。次回の予選会では日本人トップの記録でチームの順位を底上げし、筑波大として箱根駅伝に出場したい」と今後の抱負を語った。

関学連は往路を5時間32分2秒、復路を5時間25分33秒で走り、総合は16位相応だった。

蹴球部員5人が加入会見

「チーム象徴する選手に」

サッカーのJリーグクラブ入団が決定した筑波大学蹴球部員の合同記者会見が昨年12月19日に大会会館で開かれた。安藤寿岐(体専4年) II J2サガン鳥栖、加藤玄(同) II 当時J1名古屋ランパス・現J2RB大宮アルディージャ、佐藤留星(同) II J1浦和レッズ、諏訪幸成(同) II J1横浜F・マリノス、山崎太新(同) II J2大分トリニータの加入選手5人と小井土正亮監督(体育系・准教授)が登場した。(山本貴世II国際総合学類3年、6面に関連特集、12面に写真)

サッカー

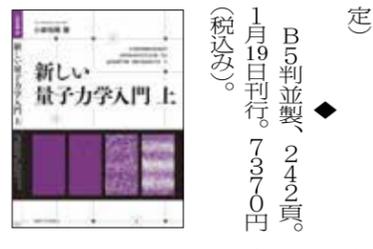
手になりたい」と話した。加藤はボールの扱いや的確なパス回しを評価されているMF。大学進学まで所属していた地元グラウンドに戻る形でプロデビューし、今季は公式戦に10試合出場した。「思うような結果は出せなかったが、来季こそは自分の価値を証明したい」と意気込んだ。190センチの恵まれた体格と高い身体能力が持ち味のGK佐藤は、昨季と今季の関東大学リーグでベス

筑波大学 出版会

ストレスマネジメント ー理論と実践ー

水上勝義・辻大士 著

ストレスとは何か、ストレスの対処法とは何か、メンタルヘルスを良好に維持するには何が大切かについて、最新のエビデンスを基に明快に解説。
A5判並製、134頁。3月19日刊行予定。4180円(税込)予定。



新しい量子力学入門

小泉裕康 著

量子力学誕生100年を機に、これまでに発展・蓄積された量子力学に関する知識を蒸留し、初学者を念頭に書かれた現代的な入門書。(下巻：7月頃刊行予定)
B5判並製、242頁。1月19日刊行。7370円(税込)。

最新 精子学

久慈 編集
伊川正人・稀葉一男 監修
吉田学・種村健太郎・直昭

生物学、水・蓄産学、農学、医学など「精子」に関する知識を分野横断的に網羅した、執筆者総勢83名からなる唯一無二の解説書。
B5判並製、372頁。令和7年12月10日刊行。12650円(税込)。



9年ぶりの制覇 国士舘大に快勝



金メダルを首にかけインカレの優勝を喜ぶ選手ら=蹴球部提供

45年ぶりに関東と2冠

全日本大学選手権(インカレ)の決勝が昨年12月27日、宇都宮市のホンダヒート・グリーンスタジアムで行われた。筑波大は国士舘大を3-0で破り、9年ぶり10回目の優勝を果たした。前月には関東大学リーグでも優勝しており、2冠達成は45年ぶりの快挙だ。個人ではMF大谷湊斗(体専1年)が最優秀選手(MVP)に選ばれた。(望月祐那II比較文化学類1年)

サッカー

インカレの決勝ラウンド(12月13・27日)では、4チームずつ4組に分かれて総当たりするグループステージの後、各組の上位2チームがトーナメントで競うフックアウトステージに進出する。

筑波大はAグループを2勝1敗で2位通過した。第3節で阪南大に1-2と敗れたが、チームを引き締め一戦となった。

フックアウトステージ1回戦では、Cグループを1位通過した大阪体育大に1-0で勝利した。次の準決勝では日本体育大と対戦。前半10分に、こぼれ球をMF清水大翔(同2年)が押し込んで先制するなど3-0で快勝した。

そして迎えた決勝は、今季の関東大学リーグ2位の国士舘大と対戦した。前半の立ち上がりは国士舘大の積極的な攻撃に押し込まれる展開になった。同9分にF小林俊英(同3年)がシュートを放つも相手GKに阻まれた。同33分にはGK佐藤瑠星(同4年)が相手シュートを好セーブするなど、何度も相手の攻撃を跳ね返し、前半を0-0で終えた。

後半は筑波大が攻勢に転じ、同24分にはDF布施克真(同1年)が前線にクロスパスを出した。これに反応した大谷が相手守備陣をかきわけてゴールを決め、先制した。更に同31分、MF矢田龍之介(同)の右コーナーキックをFW山下景司(同)が頭であわせて2-0とした。

そして同42分、こぼれたボールをMF篠田翼(同3年)がワンタッチで上げる。追った大谷がGKをうまくかわし、この日2点目のゴールを決めた。そのまま

国士舘大に点を許さず、3-0で勝利した。

小井土亮監督(体育系准教授)はグループステージ第3節の敗戦で緊張感がより高まった。苦しい展開の中でも、自分たちが崩れずに戦えたことが決勝の勝因だ。新チームでも部員一丸となり、連覇に向けて「トライしたい」と語った。

主将のMF山崎太新(同4年)は「優勝が決まった瞬間は安堵と喜びが込み上りた。主将として、苦しい時こそ自分が走って戦う姿を見せることが大切にしてプレーしたと振り返った。1年生ながらMVPを獲得した大谷は「けがでプレーできない時期もあったので、報われたと感じた。来季はインカレ、関東大学リーグ、総理大臣杯の3冠を目標に今後もチームのために全力で戦いたい」と意気込んだ。

男女混合団体で初代王座 チーム力の強さ見せ

「全日本学生男女混合団体」の第1回大会が昨年12月20、21日に香陵アリーナ(静岡県沼津市)で開催された。筑波大は主力メンバーをそろえて挑み、準決勝で国士舘大、決勝で東海大を破って初代王者に輝いた。(横山心咲II比較文化学類3年)



柔道

大会は五輪種目「男女混合団体」を国内で浸透させるため設けられた。男女各3階級の計6選手で戦う。筑波大は20日の予選リーグをトップ通過し、決勝トーナメントに進出した。決勝トーナメントでは五輪と同様に、4勝先取すれば勝ちとなる。1回戦シードの筑波大は2回戦で日本体

育大と対戦。4-1で勝ち上がる。3回戦では早稲田大に4-0と完勝した。準決勝の国士舘大との対戦は、2-1となった第5分23秒の戦いに決着をつけ、4-2でチームを決勝に導いた。

決勝の東海大戦は、第1試合の女子70kg級以下に白金未桜(体専2年)が登場。裏技で技ありを奪って勝利した。続く第6試合は男子90kg級以下だったが、豪快に一本を奪った。

第2試合の女子57kg級以下にはトレス・カミラ(同2年)が登場。開始24秒に



初優勝に輝き記念撮影をする部員ら=柔道部提供

監督を含め、男女仲良くチームが一丸となって戦えるという点は、筑波大が重んじてきた。

女子5年ぶり3位



「自分らしいプレーできた」

全日本大学選手権(インカレ)が昨年11月29日、12月14日、大田区総合体育館(東京都大田区)などで開催された。筑波大女子は準決勝で惜敗したが、早稲田大との3位決定戦を制した。3位入賞は5年ぶり。(惣田堅斗)

バスケット

インカレの決勝ラウンド(12月13・27日)では、4チームずつ4組に分かれて総当たりするグループステージの後、各組の上位2チームがトーナメントで競うフックアウトステージに進出する。



チームそろってメダルを手に笑顔を見せる=女子バスケットボール部提供

インカレの決勝ラウンド(12月13・27日)では、4チームずつ4組に分かれて総当たりするグループステージの後、各組の上位2チームがトーナメントで競うフックアウトステージに進出する。

インカレの決勝ラウンド(12月13・27日)では、4チームずつ4組に分かれて総当たりするグループステージの後、各組の上位2チームがトーナメントで競うフックアウトステージに進出する。

スポーツの顔



ラグビー

強豪校が集う関東大学対抗戦Aグループで、1年生ながら今季のトライ王に輝いた。チームもグループ2位となり、優勝した2012年以来的の好成績を取った。166kg、74kgの小柄ながら、50歳を5.9秒で走る俊足が持ち味だ。

ポジションはウィング(WTB)。トライを狙う攻撃の要で、敵の隙を突く判断力と、深く攻め入るためのスピード、スタミナが求められる。

父と三つ上の兄がラグビーをしていた影響で、小学校1年時に競技を始めた。中学までは父がコーチを務める大分のクラブチームで週末に練習を重ねてきた。



関東大学対抗戦 トライ王 内田慎之甫(体専1年)

高校は地元の大分県を離れ、古豪の佐賀工業高校(佐賀市)に進学。父の出身校で、全国の舞台で戦いたいという気持ちで決めた手になったという。筑波大への進学を考え、でも3位になった。高校3年時には高校日本代表に選ばれ、海外遠征を通じた。WTBは走り続けなければならないポジションで、スタミナ不足が悩まされた。他の選手に悩まされた。

俊足生かしU20入り目指す

足首や股関節の骨折に度々悩まされたものの、持ち前の足の速さから、2年時にはチームの主力として活躍。その年の全国高校総体(インターハイ)7人制で優勝、全国高校ラグビー(通称花園)の試合時間の長さから、入部後、特に苦勞した。食生活もかきこなす。

今季の対抗戦で2位となった筑波大は、来季の関東大学春季大会で強豪校との対戦が組まれる。掲げる目標は全勝だ。個人でも6月に決まるU20(20歳以下)日本代表入りを目指す。「体力面での課題はまだ克服できていない。練習に打ち込み、身長が小さくても不利を感じないように頑張りたい」と抱負を語った。(川畑修成II知識情報・図書館学類2年)

説明会 質疑応答含め4時間超

副学長 周知遅れ謝罪

【1面参照】筑波大は来年度からの宿舎利用料値上げに関する学生説明会を1月20日、1H棟で初開催した。大学側からは千葉親文副学長(学生担当)ら5人が出席。千葉親文副学長は、物価高に伴い、値上げしないと年間約4億円の赤字が生じる見通しを示し、理解を求めた。一方、学生への告知が12月10日と遅れたことについて謝罪し、「経済的問題があれば、利用料の安い棟に優先的に案内するので個別に相談を」と呼びかけた。学生側の参加者は留学生を含む108人で、値上げの延期を求める声も相次ぎ、説明会は4時間超の長丁場となった。

(山本ひより、川上真生、結城希、壬生奏太、川畑悠成、飯野歩、大成夏生)

今回の値上げでは、最も(方)の場合、宿舎利用料は2万8040円(エアも利用者の多い一般改修は現行の月1万9410円(エアコン未設置)か8600円(エアコン未設置)となる。

《現行と来年度以降の宿舎利用料》 (単位:円)		
宿舎区分	現行	2026年度以降
	宿舎利用料	宿舎利用料 上げ幅
一般宿舎(単身用)	一般(未改修)	15380 22590 7210
	一般(改修) 春日地区以外	19410 28040 8630
	一般(改修) 春日地区	19615 29920 10305
	追越 25~27号棟	31170 39810 8640
	追越 27号棟(新)	25955 39810 13855
	追越 28号棟	27900 57240 29340
	一の矢 10~16号棟(未改修)	23670 44870 21200
	春日3号棟	23711 40290 16579
	一の矢 17~19号棟	33826 43290 9464
	一の矢 36・37号棟	29785 42350 12565
一般宿舎(世帯用)	春日3号棟(夫婦室)	29177 43550 14373
	春日3号棟(家族室)	33417 55720 22303
	一の矢 6・8号棟	23800 33040 9240
SHORTステイ思	一の矢 31~33号棟	44000 92750 48750
	一の矢 34・35号棟	36100 51980 15880
	一の矢 38号棟	30600 48410 17810
	グローバルヴィレッジ	35800 46260 10460

宿舎学生の声

本紙は、宿舎に居住する学生計10人に、今回の値上げについて意見を聞いた。値上げ自体はやむを得ないという意見が大勢だった。が、値上げのプロセスや発表時期、周知方法については不満が寄せられた。

【1類1年・男性・平砂】来年度も継続入居する。値上げの発表が遅く、新居探しの時間がないと考えた。だが、値上げの負担感が大きい。できれば、段階的な値上げにしてほしい。

【地球1年・男性・平砂】引越しが大変なので、来年度以降も継続する。値上げの可能性がある段階から告知してほしい。授業料値上げでも、同じ進め方をされるのは困る。

【人文2年・女性・平砂】値上げ後の宿舎利用料は環境に見合わず割高だ。宿舎と同価格で、住環境が良いアパートへ引越す。

【比文1年・女性・平砂】宿舎の光熱費は安いのが、部屋の狭さや値上げ幅を考えると、アパートの方がいい。年々案内が遅く、見逃して



説明会で質疑応答を行う学生と千葉副学長(1月20日、1H棟) = 壬生奏太撮影

宿舎料 値上げ を追う

千葉副学長の説明によれば、宿舎は学生の利用料で運営し、収支の均衡を目指してきた。しかし、物価高や維持管理費などの上昇に伴い、昨年度から収支が急激に悪化し、今年度は約1億円の赤字という。このままでは、来年度以降は赤字幅が年間約4億円に拡大することが見込まれると示した。

宿舎の一般入居者が継続を希望するかどうかの調査は例年、10月ごろに実施されている。今年度は10月下旬から11月6日までコミュニケーションリーダーとして入居の継続を希望するかの調査が行われ、その際に値上げの見込みについても示されていた。しかし、一般入居者に伝わったのは値上げ決定後になった。これについて千葉副学長は「大学側の周知が不十分だった」と謝罪した。宿舎は借主の保護を定めた借地借家法の対象外で、事前通知の義務はないが、もう少し早く周知できればよかったとの認識を示した。

値上げ経緯 大学側に聞く

本紙は宿舎利用料の値上げ決定の経緯や学生との対話の進め方、宿舎の位置付けなどについて千葉親文副学長(学生担当)、中澤秋夫学生部長らにインタビューした。学生への周知遅れの理由については「学内の議論に時間がかかったため」と説明した。今後は情報を速やかに周知し、新入生を宿舎に呼び込むキャンペーンを展開する方針という。

【社文3年・女性・一の矢】3年間宿舎に住んでいるが、値上げを知り、アパートに引越すことにした。例年は10月ごろに継続入居の抽選が実施されるが、昨年は案内が遅く、見逃して

【地球1年・男性・平砂】引越しが大変なので、来年度以降も継続する。値上げの可能性がある段階から告知してほしい。授業料値上げでも、同じ進め方をされるのは困る。

【人文2年・女性・平砂】値上げ後の宿舎利用料は環境に見合わず割高だ。宿舎と同価格で、住環境が良いアパートへ引越す。

【比文1年・女性・平砂】宿舎の光熱費は安いのが、部屋の狭さや値上げ幅を考えると、アパートの方がいい。年々案内が遅く、見逃して

学内会議続き 周知遅れた

値上げはどのような試算に基づいたのか。また、いつ決まったのか。千葉 物価上昇に伴うこれまでの赤字解消や今後の維持管理費の増加、入居率などを基に算出した。文部省や各自治体の規制も踏まえた。昨年7月15日の学内の会議で値上げ方針が決まり、11月27日の役員会で値上げ決定前の10月末にコミュニケーションリーダーとして継続入居を希望する学生を調査する際に、教育情報システム「TWINs」や張り紙で掲示することで在学生に周知された。

【社文3年・女性・一の矢】3年間宿舎に住んでいるが、値上げを知り、アパートに引越すことにした。例年は10月ごろに継続入居の抽選が実施されるが、昨年は案内が遅く、見逃して

【地球1年・男性・平砂】引越しが大変なので、来年度以降も継続する。値上げの可能性がある段階から告知してほしい。授業料値上げでも、同じ進め方をされるのは困る。

【人文2年・女性・平砂】値上げ後の宿舎利用料は環境に見合わず割高だ。宿舎と同価格で、住環境が良いアパートへ引越す。

【比文1年・女性・平砂】宿舎の光熱費は安いのが、部屋の狭さや値上げ幅を考えると、アパートの方がいい。年々案内が遅く、見逃して

新入生優先 継続入居枠は減少

千葉 宿舎全体では約69%だ。一般宿舎(単身及世帯用)が約68%、ショートステイハウスが約67%、グローバルヴィレッジは約70%だ。来年度は宿舎全体で80%を目指している。

【地球1年・男性・平砂】引越しが大変なので、来年度以降も継続する。値上げの可能性がある段階から告知してほしい。授業料値上げでも、同じ進め方をされるのは困る。

【人文2年・女性・平砂】値上げ後の宿舎利用料は環境に見合わず割高だ。宿舎と同価格で、住環境が良いアパートへ引越す。

【比文1年・女性・平砂】宿舎の光熱費は安いのが、部屋の狭さや値上げ幅を考えると、アパートの方がいい。年々案内が遅く、見逃して

【地球1年・男性・平砂】引越しが大変なので、来年度以降も継続する。値上げの可能性がある段階から告知してほしい。授業料値上げでも、同じ進め方をされるのは困る。

【人文2年・女性・平砂】値上げ後の宿舎利用料は環境に見合わず割高だ。宿舎と同価格で、住環境が良いアパートへ引越す。

【比文1年・女性・平砂】宿舎の光熱費は安いのが、部屋の狭さや値上げ幅を考えると、アパートの方がいい。年々案内が遅く、見逃して

【地球1年・男性・平砂】引越しが大変なので、来年度以降も継続する。値上げの可能性がある段階から告知してほしい。授業料値上げでも、同じ進め方をされるのは困る。

【人文2年・女性・平砂】値上げ後の宿舎利用料は環境に見合わず割高だ。宿舎と同価格で、住環境が良いアパートへ引越す。

【比文1年・女性・平砂】宿舎の光熱費は安いのが、部屋の狭さや値上げ幅を考えると、アパートの方がいい。年々案内が遅く、見逃して



ボナ大学 (ドイツ) 金田慧真

ドイツで感じた平等と差別

ドイツで感じた平等と差別



ドイツで感じた平等と差別

ドイツで感じた平等と差別

不動産会社に聞く

キャンパス周辺「物件の動き早い」

本紙は筑波キャンパス周辺(付帯)で4万円台が中心だ。周辺の賃貸物件を軒数にしていく不動産業者に、宿舎利用料値上げ発表後の動向を取材した。どの業者も学生からの問い合わせが例年より増えたという、空室が減ったという業者もいた。

桂不動産(本社・つくば市研究学園)の筑波大学前支店によれば、筑波キャンパス周辺の学生向け賃貸物件の家賃相場は、ワンルームのアパート・マンション(バス・トイレ、キッチン

付帯)で4万円台が中心だ。築年数にこだわらなければ2〜3万円台もあるが、新しい物件だと、6万円台もあるという。同店の担当者は「値上げ発表後は、学生からの問い合わせが例年より1.2割増えた。ただし、物件の空室状況は例年と同程度だ」と話した。

また、一誠商事(本社・同市竹園)によると、昨年12月にキャンパス周辺を担

他大の宿舎事情は

筑波技術大と九州大

他の国立大の宿舎はどうなっているのか。筑波技術大と九州大に個室の宿舎の面積や共益費を含む利用料、築年数、現在の入居率を聞いた。

筑波技術大の学生宿舎は10平方メートル、築17〜35年。入居率は約60%。どちらも電気代は別で、エアコン・共同浴室がある。現時点で値上げの予定はないという。

九州大の学生宿舎は合計1318戸。このうちメインキャンパスである伊都キャンパスに設置された学

生宿舎の一つ、伊都協奏館(17平方メートル、築11年)は利用料が月額2万1000円(水道代・電気代・インターネット代別、エアコン・ユニットバス付き)。入居率は約90%。今後の値上げの有無について言及はなかった。

筑波大の一般改修棟(春日地区以外、約10平方メートル、2009〜14年改修)は今年4月から月額2万8040円(電気代の基本料は大学負担、エアコン付き)となる。入居率は約70%。



3度目の打ち上げ延期

基板の修正急ぐ

これにより、開発スケジュールが見直され、今年から開発を統括するメンバー(1月28日、総合研究棟Bで)



「回路の設計はうまくできている。あとは回路を載せる基板の設計を修正し、温度試験を慎重に進めたい」と今後の開発を展望した。

一方、衛星のプログラムを製作しているコマンドアンドデータハンドリング(C&Dh)系では、宇宙空間での衛星の消費電力などを記録したり地上からの指示を受けたりする「メインボード」の

GSLS 日本で初開催

日マ学生が地球規模課題など議論



学生フォーラムで議論する全大会の吉川議長(右)ら(1月11日、2H棟)

「未来のグローバルリーダーの育成」を総合テーマに、マレーシアの国立マラヤ大と筑波大が共催したグローバル・リーダーシップ・サミット(GSLS)が

1月9〜11日、つくば国際会議場(つくば市竹園)と筑波大で開かれた。マレーシアと日本から学生159人(筑波大は71人)、教職員30人(同14人)が参加し、地球規模の課題などについて

GSLSはマレーシア高等教育が主導し、主催校となったマレーシアの大学が海外の大学と連携して毎年実施している。今年度の主催校となったマラヤ大のキャンパスに筑波大マレーシア校が置かれていること

初日の午後2時目は、気候変動、人工知能(AI)、先端技術、ヘルスケアなど七つのテーマごとに分かれ、学生が自らの研究について発表した。マレーシアと筑波大の教職員がペアを組んで、各セッションの進行役を務めた。

「結」のメンバーは試験の失敗を乗り越え、完成に向けて開発に取り組んでいる。(青野心平II物理学類3年、写真も)



アベさん最終回 アベさん(比文4年)による4コマ漫画「Go!!! 博士号」は今号で終わります。ナツさん(地球1年)担当の4コマ漫画「Go!!! 博士号」が始まります。

マレーシアの国立アトラ大で農学を専攻するマン・アド・アズリさん(22)は「日マの学生リーダーたちと議論ができて、刺激を受けた。さまざまな人を知り、新しい知識を得る良い機会になった」と振り返った。(壬生泰太、写真も)

ファンタジー、コメディ、少女もの、恋愛もの、4コマ漫画……。漫画研究会のメンバーが得意とする分野はバラエティに富んでいる。

「博士号」はどんな気持ちで筑波大の自然や学生を見てきたのかを想像しながら、読み流せる軽さと温かさを大切に描いている」とアベさん。SNS(ネット交流サークル)で反響があり、驚いたこともあるという。漫画研全体としての主な活動は、筑波大学園祭



仲間と一緒に制作意欲が湧くという会員たち。写真右がアベさん(1月12日、文化系サークル会館で)

代表の赤トンボさん(芸専2年)は「漫画自体は一人でも描けるが、会誌に作品を出すことで、人の目に触れる機会も増える。1年生から主力になれるし、学年を問わず初心者も大歓迎だ。漫画に興味がある人はぜひ参加してほしい」と話す。会員が増えることで会誌がより厚くなること、代表としての願いだ。(壬生泰太II地球学類2年、写真も)

Who's Who?

茨城県芸術祭特賞受賞

成山功士郎 さん (芸術P前期2年)



制作した「捧ぐ肉」の前に立つ成山さん＝本人提供

今年度の茨城県芸術祭・美術展覧会の彫刻部門で応募44作品の頂点となる特賞を受賞した。受賞作「捧ぐ肉」は石こう製の裸婦像で、高さ2.5メートル(台座を含む)の大作だ。女性は左腕を頭の上に乗せ、左や斜め下に視線を向けている。審査員からは「量感豊かに表現した迫力ある力作」と評価された。

「神が好むだろう成熟した肉体をコンセプトに、古代ギリシャ彫刻の構造美と人体の緊張感を意識して制作したという。茨城県石岡市生まれ、つくば市育ち。幼い頃から図画工作が好きで、美術教員になろうと茨城大教育学部に進学。幅広く美術の基礎を学んだ。

大学3年時に、ブロンズ彫刻が専門の島岡教授のゼミに入った。「特殊な設備や、専門的な道具が必要で授業のみでは体得し難い彫刻は絵よりも教えることが難しい。铸造技術など専門的なことを学びたい」と考えたからだが、これが転機となった。島岡教授の指導を受けて制作に

それでも、「古代ギリシャ彫刻のような、かっこいいものをつくりたい」という思いが、日々の制作の支えになった。制作に没頭し、5日間大学に泊まり込んだこともあった。完成した作品は

「かっこいいもの作りたい」

24時間彫刻制作に没頭

左巻を握る男性の上半身像。難しい素材であるブロンズで理想的な人体を表現できた」と感じ、大学院進学を決めた。また、茨城大には美術専門の大学院はなく、地元で通いやすく、铸造設備もある筑波大学院に進んだ。「ほとんどの授業は実技で、自主制作の時間が多かった。自分で課題を設定して制作に取り組むことができて良かった」という。

昨春は1カ月間かけて欧州を訪れ、彫刻の原点であるギリシャ、ルネサンスが始まったイタリア、近現代で制作の中心地となったフランスの美術館や博物館を巡った。

「ブロンズ」と呼ばれ、理想的なプロポーションの裸像として作られた。その神っぽさがかっこいいと思った」と語る。また、現地ではより古い時代のブロンズの人物像も鑑賞した。

お正月の箱根駅伝取材で定年退職する教授の方々に話を聞きました(3面)。皆さん、素晴らしい業績をお持ちで、充実した環境で学べていると、実感しました。筑波大を卒業するアスリートたちも取材しました(6、7面)。新天地での活躍を応援しています▼今号から編集部は代替わりしました。新体制となっても、これまでと変わりなく、読者である筑波大生に有益な情報をお届けするつもりです。愛読をお願いします。

情報・図書館学類2年)文化学類1年)、大成夏生(第1類1年)ほか編集部員18人

その中でも特に引かれたのが、古代ギリシャ時代のクラシック期(紀元前5〜4世紀頃)に制作された作品だ。抽象的な表現から写実的な人体表現への過渡期で、彫刻では理想的な人体石彫、ブロンズでは型を用いた铸造法が登場した。男性像は

これからの彫刻の制作を続け、美術史に残るような作品を生み出すことが夢だ。その実現に向け、春からは筑波大博士後期課程に進み、「かっこいいもの」を生み出すための技術を磨いていく。

発行所 筑波大学印刷リリウム

大学入学共通テスト実施



テストに臨む受験生ら(1月17日、第一エリアで)＝飯野歩撮影

1面へ

「本と喫茶サッフォー」



一般学生団体「SODA」が制作した小冊子が店頭で並ぶ(1月25日、つくば市天久保で)＝川上真生撮影

2面へ

明和電機 ライブと梱包箱展



ライブの様子を再現した展示を鑑賞する来場者ら(1月28日、アーツスペースで)＝大竹翔撮影

5面へ

Jリーグクラブに加入



加入先のユニフォームを着た選手らと小井土監督(昨年12月19日、大学会館で)＝山本貴世撮影

8面へ

編集後記

題視する学生が多いことが分かります。キャンパスライフに直結する宿舍問題を追いつけます▼今年度限りで定年退職する教授の方々に話を聞きました(3面)。皆さん、素晴らしい業績をお持ちで、充実した環境で学べていると、実感しました。筑波大を卒業するアスリートたちも取材しました(6、7面)。新天地での活躍を応援しています▼今号から編集部は代替わりしました。新体制となっても、これまでと変わりなく、読者である筑波大生に有益な情報をお届けするつもりです。愛読をお願いします。

学内総合

学内総合

学芸

スポーツ

次号は 4月1日(水) 発行予定です

筑波大学新聞編集部
編集長 川畑悠成(知
情報・図書館学類2年) 副編集長 望月柚那(比較文化学類1年)、大成夏生(第1類1年)

編集・発行
筑波大学新聞編集委員会
委員長 内海真生(生
環系) 教授 水環境生態工
学) 副委員長 中澤秋夫
(学生部長) 委員 秋山
肇(人社系) 助教 憲法・
平和研究、嵯峨寿(体育
系) 准教授 レジャール・ス
ポーツ産業論、永森光晴
(図情メ系) 講師 セマン
ティックウェブ・メタデー
タ